

体験学習をおこなうために(1班)

■栄養教諭・県教育委員会・JA中央会・センター

体験学習の効果	課題・問題点	解決するために必要なこと
<ul style="list-style-type: none"> * 心を豊かにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・収穫の喜びを知る ・生産の苦労を知り、生産者へ感謝の気持ちを持つ ・食べ物は育つ物という実感 ・協働の大切さを知る ・興味関心が広がり、知識＋視野が広がる等の習得がある ・命の大切さを知り、食べ物を大切にする心が育つ ・自分が主役になれる ・農と食の繋がりを知る * 食の幅が広がる <ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いが減る ・偏食改善のきっかけとなる ・旬を知る ・おいしさの奥深さを知る * 地域への愛着がわく <ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりが持てる ・自分の住んでいる地域の特徴を知る ・故郷のすばらしさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> * 学習時間が限られている <ul style="list-style-type: none"> ・年間通しての取組みができない。 ・限られた体験しかできない * 生産者、JA等とパイプ役になる人がいない * 周囲の田畠の有無により、活動のやりやすさが違う。 * 指導者の確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域ボランティアやPTAとの連携 * 生産者やJAと繋がりを持つ * 栄養教諭が体験学習をおこなう学年担任に給食等でお世話になっている生産者やJAとの繋がり等を伝える * 昔の農業のやり方ばかりではなく最新の機材を使った農作業も紹介し、農業に関心をもってもらう。



体験学習をおこなうために(2班)

■栄養教諭・大学教授・センター

体験学習の効果	課題・問題点	解決するために必要なこと
<ul style="list-style-type: none"> * 感謝の気持ち <ul style="list-style-type: none"> ・食事を作ってくれた人へ感謝する ・生産の苦労を知り、生産者へ感謝の気持ちを持つ ・「いただきます」「ごちそうさま」を ・作る喜びを知り感謝の気持ちが育つ * 知識・技能の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物への興味・関心を高める ・旬の食材がわかる * 生きる力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・工夫する力が生まれる ・自分を発揮する場が出来る ・様々な発見、驚き * 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と関わりが出来る ・地域の指導者を尊敬する心が育つ ・地域の産物を知る * 豊かな心 <ul style="list-style-type: none"> ・達成感が味わえる ・家庭での会話が増える ・友達とより親しくなる * 自然への理解 	<ul style="list-style-type: none"> * 体験の時間がない <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが一連を通して体験することができない(ほとんどが農家任せ) ・草取りなどの時間がない * 体験のための農場がない <ul style="list-style-type: none"> ・プランターなどでの体験となる * 夏野菜の場合、収穫時期は夏休み 	<ul style="list-style-type: none"> * 繰り返し体験する時間の確保 * 担任の理解 * 担任への情報提供 * 担任との連携



体験学習をおこなうために(3班)

■栄養教諭・県(保健部局)・大学職員・センター

体験学習の効果	課題・問題点	解決するために必要なこと
<ul style="list-style-type: none"> * 感謝の気持ち <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を大切にする気持ちが育つ ・生産の苦労を知り、生産者へ感謝の気持ちを持つ ・食事を作ってくれた人へ感謝の気持ちを持つ （「いただきます」「ごちそうさま」を言う） ・好き嫌いがなくなる * 知識・技能の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が広がる ・段取りを考える(自主的に考える) * 生きる力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・五感を活用する ・食べる事への意欲 * 連帯感・責任感 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を自覚して責任を果たす ・友達と協力、相談ができるようになる ・気持ちを分かち合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> * 体験の時間がない <ul style="list-style-type: none"> ・何回かチャレンジできる時間がない ・単発で終わりがちである。継続した関わりが必須 * 子ども達が本当に感じているものがつかみにくく <ul style="list-style-type: none"> ・本当に達成感が養われているのか ・本当の評価が難しい * 好き嫌いをなくすのは簡単ではない 	<ul style="list-style-type: none"> * 生産者と一緒に取組む <ul style="list-style-type: none"> ・生産者も何度もかするうちに子どもの関わり方を理解出来るようになる * 地域の方とも連携し、狙いを共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・準備をしてしまい、いいとこどりの体験となりがち ・指導のポイントを共有する ・成功ばかりの体験でなくてもよいのではないか ・当日の流れを決めやすい ・地域に声をかければ協力者は多くいる * 事前に質問を集めて生産者に渡しておく <ul style="list-style-type: none"> ・当日の流れを決めやすい

